

第4期越谷市自治基本条例推進会議の 取り組みについて（報告書）概要

- 1 はじめに..... 1
- ・自治基本条例が制定された目的、第1期から第3期推進会議での経過
 - ・これまでの報告書及び答申の内容を踏まえながら、第4期では「自治基本条例の実行性の確保について」をテーマとして調査審議を行ってきたこと。
- 2 自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について..... 2
- ・自治基本条例が適切に運用されているか確認するため、「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」を作成したこと。
 - ・「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」は、主に参加、協働、情報共有、市政運営の4つの分野ごとにまとめており、それぞれ「指標」と「報告事項」で構成していること。
- (1) 指標設定の考え方について..... 3
- ・各分野の前提となる包括的な項目として「自治基本条例の認知」を冒頭に設定したこと。
 - ・自治基本条例の基本原則である、参加、協働、情報共有、市政運営の4つの分野毎に指標設定の考え方について説明したこと。
- (2) 現状分析について..... 4
- ①自治基本条例の認知について..... 4
- ・毎年度実施している市政世論調査の結果から抜粋していること。
 - ・平成28年度が28.3%、平成29年度が28.5%で若干の上昇に転じてが総じて認知度は依然として低いこと。
 - ・特に若年層に向けた認知度向上の取り組みが必要であり、現在行っている取り組みについても、継続的に創意工夫を凝らしていく必要があること。
- ②指標全体について..... 4
- ・平成29年度においては、平成28年度と平成27年度の数値を比較したところ、41指標のうち22指標、割合として53.6%の指標の数値が上昇していること。
 - ・全体的には多くの指標で数値が横ばい、さらには数値が低下している指標もあること。
 - ・指標全体の数値を上昇させるためには、まず市民参加の機会を増やし、市政への関心を深めてもらうことが市民との協働を推進する第一歩であることから、ニーズを的確に捉え、さらに積極的な取り組みを行う必要があること。
- 3 市の施策への意見について..... 6
- ・指標を基にした協議の中で、特に市の施策に対しての具体的な意見を「市の施策への意見」としてまとめ、予算要求時期に合わせ、各担当課へ伝え、各年度に取り組む事業の参考とするよう依頼したこと。
 - ・その後、「市の施策への意見」をどのように各年度の事業に反映したか、「市の施策への意見」に対する考え方などについて各担当課に照会し、提出された回答を踏まえ、より改善する必要がある点などについて協議を行ってきたこと。

| | | |
|---|---|---|
| 4 | むすびに..... | 7 |
| | ・自治基本条例の目的に規定される「住みよい自治のまちの実現」のためには、継続した取り組みが必要であること。 | |

| | | |
|---|-----------|---|
| 5 | 委員名簿..... | 8 |
|---|-----------|---|

【別添1】自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項

【別添2】推進会議の意見を受けての市の対応（H28）

【別添3】推進会議の意見を受けての市の対応（H29）